



# みなみおか

第26号  
2021.2.17  
発行



## 2月も、あっという間に…

2月第1週目に、全ての学年にタブレットを配付することができました。5年生から順次、『MTR（南丘小タブレットルール）』をしっかりと学習してから、真新しい自分のタブレットを手に入れました。みんな、とても楽しみにしていたので、嬉しそうに、ちょっと不安げにタブレットを使いながら授業を受けていました。

1, 2年生は、2月5日に初めてタブレットの授業を行ったのですが、丁寧に授業を進めるために、**タブレットの達人である6年生にサポートに入ってもらいました。**まず、タブレット保管庫から、充電器の端子を抜くのがなかなか難しく、時間がかかりました。カバーがついているので、余計に力が必要だったので、指先の力を付けることも必要だなあと感じました。



教室に持って入った後は、先生の指示に従って練習を始めましたが、「タップ」「スライド」「長押し」「スワイプ」・・・など、難しいことばと操作に戸惑っていました。1年生の子が「スライドしたけど違う画面になった!」と困っていると、横についている6年生が「真横にスライドしないと出てこないよ、斜めにスライドすると違う画面になるよ!」とそっと教えてくれていました。さすが・・・6年生!一つひとつのちょっとした疑問にもわかりやすく答えることができている、1時間の授業があっという間におわりました。「いない画面はちゃんと消しておくといいよ!」とか「両手で持たないと落としてこわれるよ!」と最後までアドバイスもばっちりでした。

今年は、コロナ対策でなかなか異学年の交流ができませんでしたが、今回はサポートしないと混乱するのではないかと思いますので、6年生にお願いしました。6年生100人を8クラスに分けて12人ずつクラスに入ってもらい、2~3人の子ども達に寄り添いながら、丁寧に教えてくれて、とても助かりました。

**頼りになる6年生のみなさん、ありがとうございました。**



## コロナ禍「調理実習」をしました!

～6年トマトとほうれん草のいため麺・5年みぞ汁～

緊急事態宣言が延長となりましたが、新しい生活様式を徹底し、3密を回避しながら、できる範囲で通常と同じ活動ができるよう、試みしています。特に、5, 6年の家庭科における調理実習はリスクの高い活動となるためこれまで実施していませんでしたが、学年末になってきたので、何とか工夫して実施できないものかと、家庭科専科の山本

先生が考え、「**学級二分割、一人一品調理実習**」を行いました。本来なら、6年3学級、3回の調理実習で済むところ、二分割なので6回行うこととなります。1テーブルに2人~3人、互い違いに座ります。テーブルの上には、一人ずつの材料と道具が用意されています。道具はコロナ禍のための予算が配当されましたので、その予算で包丁やフライパンを購入して準備しました。丁寧な手洗いはもちろんのこと、その上調理用手袋をはめての実習です。



自分の材料を、丁寧に洗い、包丁で切っていきます。にんにくのみじん切り・・・手慣れている子もそうでない子も、一生懸命です。コンロの上には水が沸騰しています。手ばやくほうれん草をゆでて水きりしたら、続けて麺をゆでる。マルチタスク(複数の作業を同時に実行していくこと)の能力が要求される調理! これまでは、班で協力して・・・だったので、苦手なところは助けてもらっていましたが、今回はそうもいきません。最後、調味料を入れて出来上がり・・・味見をして満足! 達成感があって、味見をしている顔は素晴らしい笑顔でした。



後片付けも自分で・・・。班で協力の作業もいいですが、一人一品もとても良かったです。コロナ禍でしか体験できない貴重な授業でした。